

元気企業
訪問

足立織物
株式会社

姉妹で力を合わせ 非常用圧縮毛布を開発 経営革新計画が 商品化を後押し



東日本大震災がきっかけに

大きさはA4サイズ(22センチ×30センチ)、厚さは約5.2センチ。縦200センチ、横120センチもの大きな毛布を真空圧縮技術で思い切り小さくして商品化しました。名付けて非常用圧縮毛布「エマーゼンシーブランケット[EB-201]」。「オフィスや学校で一人一人が備蓄しやすいよう、とにかくコンパクト化を追求しました。災害時に開封すれば、身を守る毛布として活躍します」と、企画開発に携わった足立有希さんは思いを話します。

同社は戦後、西脇の地場産業である播州織のメーカーとして、シャツ生地製造を始めました。その後、ハンカチやタオルを商品の主軸に切り替えます。10年前からは真空圧縮できる機械を導入し、ギフト品・粗品用途にタオルをコンパクトに包装した商品もそろえてきました。

転機は、東日本大震災でした。多くの帰宅困難者を目の当たりにした東京の間屋から、「災害時に暖が取れる手段として、手軽に備蓄できる毛布を開発してはどうか」とアドバイスを受けます。社長の足立利信さんは、父をサポートするため入社していた長女の有希さん、三女の美由希さんに商品開発から販促までを任せることにしまし

た。「商品のアイデアやデザイン、売り方も含め若い世代のセンスに委ねようと考えました」と足立社長は言います。

セミナーを機に開発を本格化

昨年の秋、多可町商工会が主催するセミナーに二人で参加し、兵庫県の経営革新計画のことを知りました。そこで商工会のアドバイザーから、「面白いアイデアだからぜひ挑戦してみてください」と背中を押され、本格的に開発をスタート。本棚・机の引き出しにも備蓄できる毛布を目指し、コンパクト化を追求し、A4サイズを目標にしました。「苦労したのは、毛布のへりをそろえて圧縮することと、A4サイズにパッケージ化することでした」

素材は、保温性が高く、ふわふわな肌触りのものを採用。また、備蓄用の商品のため耐久性も必要と、包装フィルムには強い素材を選びました。「最後に丈夫なダンボールのケースで覆ってから包装箱に詰めるので、万フィルムに細かい穴が開いても箱の中で納まりま

す」と特長を説明します。

書類作りですべきことが明確に

経営革新計画に申請する書類作りでも苦労しました。「二人とも数字のことは苦手。売り上げ計画の立て方が分からず、商工会のアドバイザーにずいぶんと助けていただきました」と美由希さん。ただ、書類作りをする中で経営感覚が身に付き、「開発、販売のためにすべきことがはっきりと分かるようになりました」とその効果を話します。

現在は、販路開拓に向け、生活雑貨量販店や通販会社に商品提案を行うほか、帰宅困難時の備蓄用として主に首都圏の企業・学校・団体等にターゲットを絞り、ダイレクトメールなどで直接販売していこうとしています。企



非常用圧縮毛布「エマーゼンシーブランケット[EB-201]」は緊急時に目に付きやすいオレンジ色

業からの反響に手応えを感じており、量産化するための機械の導入を進めています。

また、播州織の産地・多可町で綿

花を栽培し、多くの人に播州織の産地であることを認知・再確認してもらい、親しみを持ってほしいと考えています。

「私たちの夢は、『足立織物は良い物

を作っているね』と言ってもらえるような会社になることです」。若い2人の力が会社の未来を大きく切り開こうとしています。

会社概要
足立織物株式会社

所在地 多可郡多可町中区安楽田511

代表取締役 足立利信

事業内容 真空パック毛布、真空パック商品、タオル、ハンカチーフ、

各種ノベルティ商品の製造

☎ 0120-356-080

URL <http://www.atec1945.co.jp/>

支援メニュー講座

経営革新計画

新事業展開にチャレンジする中小企業を全業種にわたって幅広く支援します

制度概要

兵庫県では、「中小企業新事業活動促進法」に基づき、「経営革新計画」の策定の相談、承認などを行っています。詳しくは兵庫県ホームページ(https://web.pref.hyogo.lg.jp/ie04/ie04_000000017.html)をご覧ください。

メリット

経営革新計画承認を取得した企業は「社内の意識が向上した」「計画を立てる方法が分かった」「知名度、信用力が向上」というメリットを挙げており、計画期間中には以下の支援措置を利用することが可能となります（支援措置の利用に当たっては別途審査が必要となります）。

1. 低利融資制度（兵庫県）
2. 政府系金融機関による低利融資制度
3. 中小企業信用保険法の特例
4. 研究開発型中小企業に対する特許関係料金減免制度 等

問い合わせは 兵庫県産業労働部経営商業課 ☎078-362-9184

言葉を伝える
私に伝えた
誰かのように

あなたの本を
書いて
みませんか？

小説、自伝、詩集などあなたがお書きになった原稿をご予算に応じた自費出版プランでご提案いたします。また、各企業の記念誌等の企画・プロデュースもいたしております。どうぞお気軽にご相談ください。

株式会社 神戸新聞総合印刷
〒650-0044 神戸市中央区東川崎町1-5-7

印刷物の企画プロデュースから編集・印刷まで、ニーズに合わせてトータルに手がけます。

☎078-362-7180

<http://www.kobepn-printing.co.jp/>

企画・デザイン・編集・制作・新聞印刷・商業印刷
出版印刷・新聞広告・雑誌広告・SP・イベント・IT事業

ISO14001

当社の印刷センターはISO14001の
認証を取得しています。
新聞印刷及び各種商業印刷

